

小樽南ロータリークラブ会報

よいことのために
手を取りあおう



2025-2026年度R1第2510地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12時30分
- 事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2026年4月10日発行
通巻第3124号

27

今週来週
4月10日
●小樽観光協会 事務局次長 永岡 朋子氏 卓話
4月17日
●市立小樽文学館 亀井 志乃氏 卓話

再来週
4月24日
●夜間例会

■gift of voice 代表 石橋八千代様 卓話

■ロータリーソング【四つのテスト】

■会長挨拶【佐藤友美会長】



本日はゲストに石橋様をお迎えいたしました。当クラブへお越しいただきましたこと心より歓迎申し上げます。後ほどのお話を楽しみにしております。

さて、今週より4月を迎え新年度がスタートいたしました。皆様の職場においても、新入社員の配属や新制度・新システムの導入など多くの

変化のなかで慌ただしい日々をお過ごしのこととお察しいたします。

地区におきましても、明日、札幌パークホテルにて「新会員セミナー」が開催されます。当クラブからは5名の新会員が参加予定です。私自身も同行し初心に立ち返って皆様と共にロータリーの理念を学び直してまいりたいと考えております。本日の例会が、皆様にとって実り多き時間となりますことを祈念し、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

■幹事報告

①来週の月曜日には社会奉仕委員長をはじめ当クラブからも小樽駅前交番に集合し、交通安全啓発活動を実施いたします。地域の安全を守る活動への積極的なご参加をお願いいたします。

②今後の例会プログラム（卓話）について
例会運営委員会のご尽力により、今後3週にわたり各界で活躍される女性講師をお招きした卓話が続きます。

3日石橋八千代様

10日小樽観光協会 事務局次長 永岡朋子様

17日市立小樽文学館 館長 亀井志乃様

当クラブの今後を象徴するような華やかで有意義な例会となりますので、ぜひご期待ください。

③各種セミナーおよび周年行事について
地区新会員セミナー：明日開催の第2510地区新会員セミナーには当クラブより5名の新会員が参加いたします。
余市ロータリークラブ創立60周年記念式典：6月に開催される式典の招待状が届いております。当日は国際大会（台北）および横浜中クラブ周年事業と重なっておりますが、後日改めて出欠の確認をさせていただきます。

台北・横浜へ行かれない会員の皆様におかれましては、近隣クラブの節目を祝うべく、ぜひ余市へのご出席をお願い申し上げます。

④貴重資料「会員在籍名簿」の確認について
当クラブの歴史を記した貴重な「会員在籍名簿（米山会員入会時の直筆を含むもの）」について、現在一部のページが不足していることが判明いたしました。過去に報告書の作成や資料確認のために、一時的に持ち出された可能性がございます。

心当たりのある方は、お手数ですが至急幹事までご連絡ください。追ってメールでも詳細をご案内いたしますので、資料保護の観点から皆様のご協力をお願いします。

■出席報告

2026年4月3日

総会員数51名 欠席者数16名

荒田、伊藤、工藤、斎藤(英)、佐藤(公)、佐藤(勉)、白石、拝田、馬場、吹田、堀内、前川、松尾、松浦、水谷、山田



会員誕生祝

太田 宏司 会員 斎藤 英伸 会員 北野 昭宣 会員
工藤左千夫 会員 馬場 琢磨 会員 佐藤 公俊 会員

おめでとうございます

■委員会・同好会報告

【佐藤雅之会員】

これから会員名簿を順次皆さまにお配りします。もし変更点等ある方は、変更ある方ない方にかかわらず受付の方に置いていただければ僕終わった後回収しますので、よろしくをお願いします。

例会プログラム

■gift of voice 代表 石橋八千代様 卓話



4月1日に小樽商工会議所主催の合同入社式が開催され、私も少しお邪魔して、コミュニケーションについてお話をさせていただきました。会場には13社15名の新入社員が参加しており、皆さんの表情や姿勢、特に背中から強い緊張感が伝わってまいりました。それぞれ性格も家庭環境も学校生活も異なる中で、「社会人としてやっていけるのか」「役に立てる人間になれるのか」といった不安や期待が胸の中で入り交じっていたのではないかと思います。

その場で3人の新入社員に「どのような社会人になりたいですか」と尋ねたところ、1人は無言、もう1人は「適度な緊張感を持って、ゆるく仕事をしたい」と答え、私は少なからず驚かされました。一方で、別の女性は「先輩方のご指導を受けながら、役に立てる社会人になりたい」としっかりと答えており、若い世代の中にもさまざまな考え方や姿勢があることを改めて感じました。

その際、思わず「頑張ってください」と肩を軽く叩きたくなりましたが、今の時代は、そのような励ましのつもりのものであっても、相手との関係性によってはハラスメントと受け取られる可能性があります。十分に信頼関係ができていれば問題にならない場合もありますが、そうでなければ恐怖や圧力として受け止められることもあります。励ましや指導の場面であっても、相手との距離感や受け止め方に十分配慮する必要がある時代なのだと感じております。

昨今は、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントなど、さまざまなハラスメントが社会問題となっており、先輩社員や管理職の皆さまにとっても非常に難しい時代だと思えます。特に若い世代の中には、強い口調で叱られたり否定的な言葉を向けられたりすることに慣れていない方も少なくありません。そのため、こちらが何気なく発した一言でも、「否定された」「攻撃された」と感じてしまうことがあります。

たとえば、「前にも言ったよね」「聞いていなかったのか」といった言葉は、本人にとって大きな負担になります。理解しようとしていても、分からなかったからこそ

再度確認したいのに、それを言い出せない若い人も多いのです。だからこそ、「改めて説明しますね」「ここはこういう目的でお願いしています」と、相手が理解しやすいよう丁寧に伝える姿勢が大切だと思います。

遅刻についても同様です。「なぜ遅刻したのか」と責めるのではなく、「何かあったのか」「体調は大丈夫か」と、まず事情を尋ねることが必要です。もちろん注意は必要ですが、その伝え方によって相手の受け止め方は大きく変わります。場合によっては、「もう会社に行きたくない」と極端に感じてしまうこともありますので、注意の仕方には細心の配慮が必要です。

また、若手社員から「挨拶をしても先輩が返してくれない」と相談を受けたこともありましたが。挨拶を返さないことは、相手にとっては無視されたと感じられる場合があります。したがって、部下や後輩からの挨拶を待つのではなく、上司や先輩の側から積極的に声をかけることが大切です。そうした小さな積み重ねが、新入社員にとって「この職場は安心できる場所だ」と感じられる環境づくりにつながるのだと思います。

さらに、「何回同じことを言わせるんだ」「役に立たない」「お前」「やる気があるのか」といった言葉は、相手を深く傷つける可能性があり、決して軽く使ってよいものではありません。感情的になったときほど、言葉に気をつける必要があります。相手の立場に立ち、「どこが難しいのか」「何が分からないのか」を丁寧に聞きながら、支えるように指導することが大切です。

今の若い世代は、家庭や学校でも以前ほど強く叱られる経験が少ないため、言葉にとっても敏感です。だからこそ、「頑張っているね」「見ているよ」といった励ましや、「この日までお願いしたいが、できそうか」と確認しながら依頼する姿勢が求められているのだと思います。また、「お前の代わりはいくらでもいる」といった言葉は決して口にしてはならず、新入社員は会社にとって大切な存在であるという認識を持って接することが重要です。

もちろん、優しいだけでは仕事は成り立ちません。しかし、指導が必要な場面では、感情ではなく目的と理由を明確にし、冷静に説明することが大切です。相手の意見が自分と異なっても、頭ごなしに否定するのではなく、その考えの根拠を聞き、受け止める姿勢が必要です。そうした関わりの積み重ねが、良好な人間関係と安心して働ける職場づくりにつながるのではないかと感じております。

若い世代との向き合い方や言葉のかけ方について、少しでもご参考になれば幸いです。ご清聴ありがとうございました。

まごころ箱・・・いつも有難うございます！

佐藤(友)会員…石橋様本日の卓話ありがとうございました。
田中(沙)会員…旦那衆、北海道新聞に掲載されました。落語会4月25日(土)マリンホールでございます。皆様どうぞよろしく願い致します。
山村 会員…創立52周年・第50回大会の記事が全日本空手道連盟オフィシャル月刊誌に掲載されました。ご報告と心から感謝申し上げます。

新倉 会員…結婚祝、55年間仲良くやってきました。
太田 会員…会員誕生祝、夫人誕生祝
小笠原 会員…夫人誕生祝
斎田 会員…夫人誕生祝

入金集計額 令和7.7.1～令和8.4.3 (25,000円)

合計 550,500円